

三城～美ヶ原

2014.11.24 (祭) 単独

当初予定は長野市のAさんと初めての登山予定でしたが、ご承知のように長野県北部地震で急きょ仕事の関係でAさんが行けなくなったので単独で行って来ました。理由は天候が良いのと、この時期としては気温が上がると言うことで2000M以上の山へ登るには最後のチャンスだと思ったからです。結果は目的地設定を含めて大成功でした。美ヶ原へは冬季のスノシュー・歩くスキー含めて10回位行っていますが、車を利用するので登山とは言えない物でした。ずうっと気になっていた事です。今回は美ヶ原へ幾つもの登山コースがある三城牧場地区からスノートレッキングの下見を兼ねて登って来ました。グルット一回りする、歩きでのあるコース設定にしました。

自宅 7:20～8:35 三城県民の森 P (44KM) 8:50～ (広木場経由) 10:20

茶臼山 (2006M) 10:30～12:05 美ヶ原王ヶ頭 (日本百名山、2034M) ～12:25

王ヶ鼻 (2008M、昼) 12:55～ (王ヶ頭への巻き道・ダテ河原コース経由) 14:35

県民の森 P 14:40～ (旧四賀村、松茸山荘本館入浴) 17:00 帰宅

登山口の三城いこいの広場



Pには県外ナンバーが2台停まっている。この辺はキャンプ場が多く夏季は賑わう所だが登山シーズンも終わり店・宿・キャンプ場・トイレ等全て閉鎖されている。県民の森として県費で整備されているようで、案内板・トイレ・オートキャンプ場な

どが良く整備されている。キャンプ場の中を広木場目指して歩く。

北八ツのようにこけが多い



イワナが棲息していそうな沢沿いの気持ちの良い歩き。広木場で「百曲りコース」と別れて茶臼山目指して登る。唐松の多い樹林帯で落葉したので、木々の間から北アルプスが望める。この時期の登山の特権である。気温も高くて長袖で十分。その標高から2006年に扉峠からピストンで登頂した懐かしい茶臼山の山頂に到着。素晴らしい展望である。乗鞍岳～霧ヶ峰～八ヶ岳連峰～浅間山～美ヶ原が一望できる。牧場の中を北アルプスの展

望を楽しみながら王ヶ頭目指して歩く。稜線は風も少しあり、さすがに気温が低いが、フリースを着て、手袋、耳あて付きの帽子をかぶれば寒くは無い。気温が高いせいだ。

木々の間から北アルプスが

茶臼山山頂から台上方面、かすかにテレビ塔が



「ヤマレコ」を見れば10月でもかなり寒かったと書かれていたが、3連休でもあり、美ヶ原の「台上」では合計35人位のハイカーとすれ違った。展望の効く時の美ヶ原は何度来ても本当に素晴らしい所である。今日は完璧な天気ではないが、まあ合格点である。美ヶ原には「鉄平石」が多い。

乗鞍岳



北アルプスと松本市街



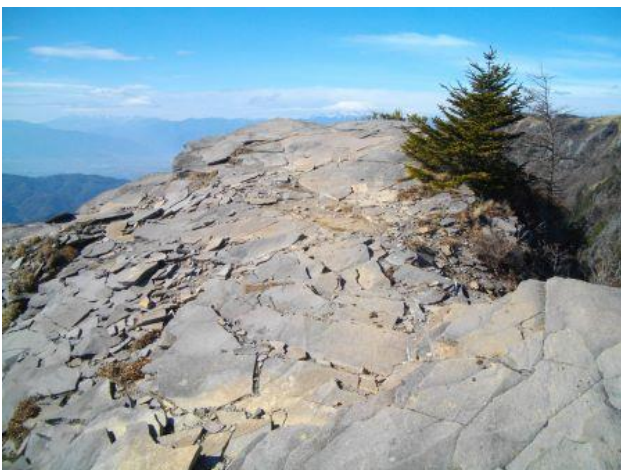
烏帽子岩にて。



案内板



鉄平石です



王ヶ頭



登山道脇にも沢山見られる。風呂場・通路・壁など建築材として人気がある。場違いの感じがする王ヶ頭ホテル横を通過して王ヶ頭～王ヶ鼻へ。

石仏群とテレビ塔群



王ヶ鼻、左は蓼科山と八ヶ岳



下山はそのまま石切り場方面に少し下り、トラバース道でダテ河原コースを下る事にする。トラバース道は細い道で歩く人も少ない感じで谷側の傾斜も急で冬季は不向きだと思った。

案内板が立派です



この道は1998年版の山と高原地図NO.33 美ヶ原・霧ヶ峰には破線で記載されているが、統合された2003年版の八ヶ岳・蓼科・美ヶ原・霧ヶ峰には全く記載されていない。その両方の地図しか持参しなかった

のでチョット不安もあったが、要所に案内板があったので確信が持てた。(ただ記載事項に不備があったが) ダテ河原コースは快適なコースで途中で古い大きな小屋があった。戸が開いたので中に入ってみたがサンダル等があり、人気も感じたが。古い方の地図を見たら「美岳荘」(休業中)と記載されていた。古い地図も捨てた物では無い。広々とした三城牧場の横を通過して道路に出てPへ戻った。P以遠の道は明日から通行止めになると看板が出されていた。

松茸山荘



昼食時以外ほとんど休憩無しで歩いた。台上以外の往復の登山道では誰にも会わなかった。冬季にスノーシューで又登ろうと思った。帰路、又「信州物味湯産手形」を使ってチョット遠回りにはなったが、旧四賀村（現松本市）の松茸山荘本館で入浴

した。松茸が沢山採れる所に相応しい名称です。建物が古くなったので、今月末で閉館との事で良い時に入れたと思いました。

赤沼 健治